

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年1月23日)

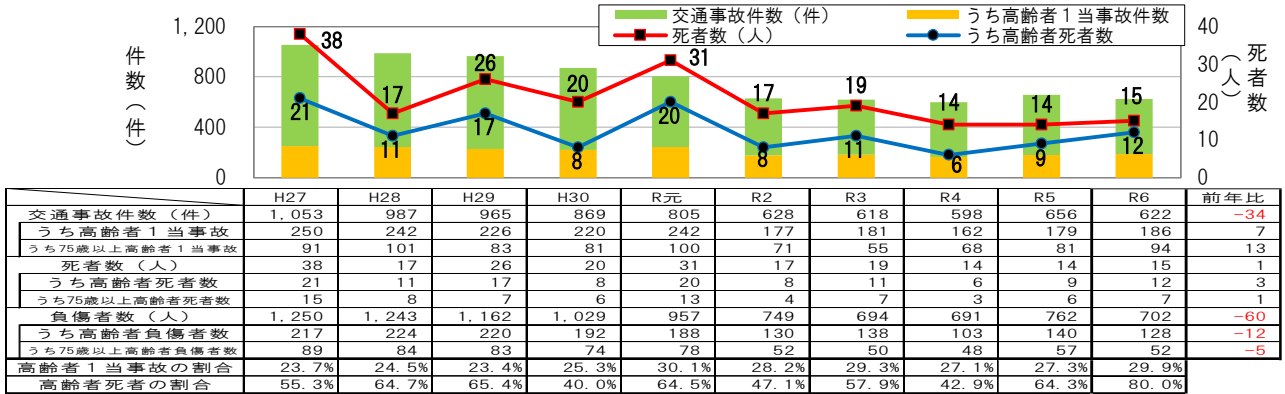
- 令和6年中の交通事故発生状況について 2
(交通部交通企画課)

警 察 本 部

令和6年中の交通事故発生状況について

令和7年1月23日
警察本部
(交通部交通企画課)

1 交通事故発生状況（過去10年の推移）

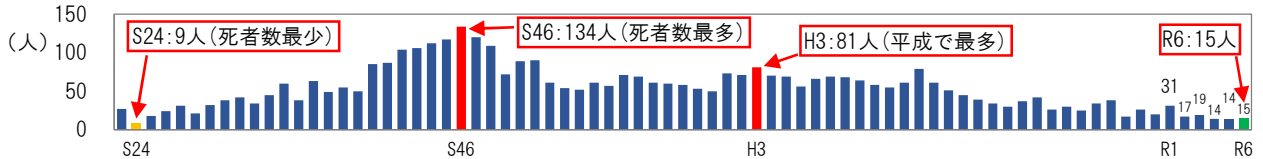


【令和6年の特徴】

- 死者数は15人で、前年の14人から1人増加した。
- 平成27年以降発生がなかった死者数3人の交通死亡事故が発生した。（8月：鳥取自動車道）
- 高齢者の死者数は12人（構成率80.0%）で、平成27年以降最も高率となった。
- 発生件数及び負傷者数は2年ぶりに減少した。

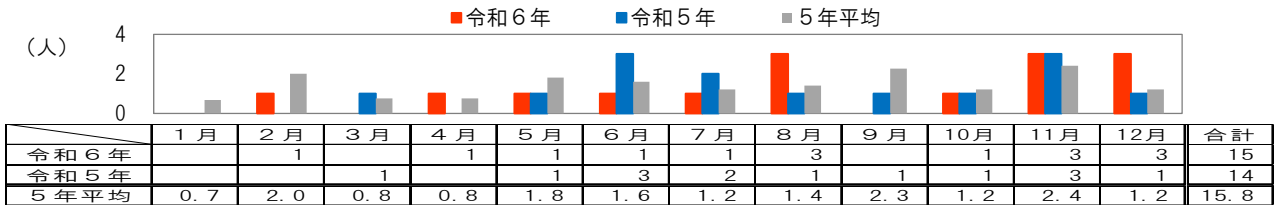
2 交通死亡事故の発生状況

(1) 死者数の推移



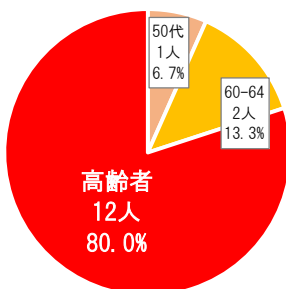
- 令和元年の31人以降、令和2年から5年連続して20人以下となった。
- 令和6年の15人は、死者数が最少となった昭和24年の9人、令和4年及び5年の14人に次いで少ない。

(2) 月別死者数

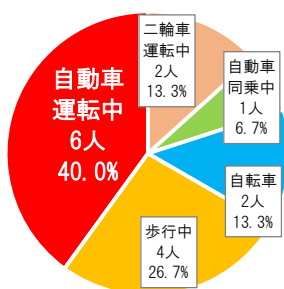


- 上半期は4件（死者数4人）であったが、下半期は9件（死者数11人）と多発した。

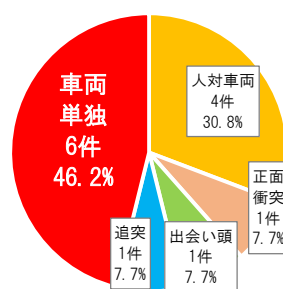
(3) 年齢別死者数



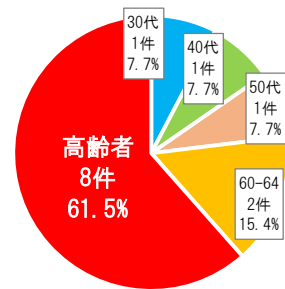
(4) 状態別死者数



(5) 事故類型別件数



(6) 1当の年齢別件数



- 年齢別死者数：65歳以上の高齢者が12人（構成率80.0%）で最多となった。
- 状態別死者数：自動車運転中が6人（構成率40.0%）で最多となった。
- 事故類型別件数：車両単独事故が6件（構成率46.2%）で最多となり、うち2件は自転車であった。
- 1当の年齢別件数：65歳以上の高齢者が8件（構成率61.5%）で最多となった。

※ 割合（構成率等）については、単位未満で四捨五入しているため、合計が100とならない場合がある。